



京都府立医科大学

KYOTO PREFECTURAL UNIVERSITY OF MEDICINE

大学案内 2024



世界トップレベルの医学を地域へ

京都府立医科大学は、近代的西洋医学の導入を願った京都府民の寄付により、1872年（明治5年）京都東山の青蓮院に開設された「療病院」で診療と医師の育成を始めたことに由来する、我が国でも有数の歴史を誇る医科大学のひとつです。2021年（令和3年）には大学昇格100周年を、2022年（令和4年）には創立150周年を迎えました。

本学は医学科と看護学科からなる医科大学です。医学及び看護学に関する知識及び技能を受け、有能な医師、看護師、保健師及び助産師となるために必要な教育を施すとともに、医学及び看護学の深奥を究めて、文化の進展

と人類の福祉とに寄与することを目的としています。「世界トップレベルの医学を地域へ」を理念とし、高度の専門的な知識・技術の修得はもとより、高い倫理観と幅広い教養を備えつつ地域の医学・医療に取り組み、その成果を地域から世界へ発信できる優秀な人材を育成・輩出してきました。

医学科では、単なる医療を施す医師、研究者の育成ではなく、社会の指導者としての人材を輩出することが本学の使命であると考えています。従って、本学設立の礎である「療病院」の開設以来、一貫して、幅広い教養と専門に必要な基礎・医学教育との連携を重視しています。





また看護教育の歴史も長く、1889年(明治22年)の附属産婆教習所の開設から130年を越え、京都府をはじめ全国において看護の発展に寄与してきました。この歴史の中で培われてきた心と技術と知識のバランスがとれた看護職者を育成するという精神は、現在の看護学科にも継承されています。

このように、長い歴史に培われてきた叡智に加えて、最先端の知識・科学を取り入れた医学及び看護学教育を提供します。単科大学ゆえに教員と学生との距離は近く、様々な事案に親身になって相談に乗ってもらえることも本学の大きな特徴です。このような京都府立医科大学が皆さんを待っています。

CONTENTS

世界トップレベルの医学を地域へ	01
学長メッセージ	03
大学沿革	05
医学部医学科	07
医学科の教育方針	08
カリキュラム概要	09
在学生の声	13
卒業生の声	14
医学部看護学科	15
看護学科の教育方針	16
カリキュラム概要	17
保健師・助産師コース紹介	19
卒業後について	20
在学生の声	21
卒業生の声	22
大学院	
医学研究科	23
● 医科学専攻(修士課程)	
● 統合医科学専攻(博士課程)	
保健看護学研究科	24
● 保健看護学専攻	
(博士前期課程・博士後期課程)	
キャンパスライフ	
府立医大の1年	25
クラブ活動	
学生の1日	27
地域医療実習	29
— 医学・看護学の共同実習 —	
国際交流	30
大学概要	
教育スタッフ	31
研究活動	33
附属施設・関連施設紹介	34
卒業後の進路、減免・奨学金制度等	35
入学試験情報	36
キャンパスマップ・交通アクセス	37



京都府立医科大学 学長 夜久 均

- 1957年 大阪生まれ
- 1982年 京都府立医科大学卒業
- 1984年 国立循環器病センター心臓血管外科レジデント
- 1988年 国立循環器病センター研究所研究員
- 1990年 Vermont大学 (Burlington, USA) 研究員
- 1993年 St. Vincent's Hospital (Sydney, Australia) 心臓胸部外科
- 1997年 京都府立医科大学帰学
- 2004年 京都府立医科大学心臓血管外科学教授
- 2019年 京都府立医科大学附属病院長
- 2023年 現職

学長メッセージ

古都京都の歴史ある大学で 最先端の医学医療を学びませんか？

皆様、こんにちは。

この大学案内は、京都府立医科大学への進学をお考えの皆様、そして医学・看護学・医療に興味を持っておられる皆様へ、当大学の魅力・強み・特色を知って頂くために作成しました。

京都府立医科大学は1872年(明治5年)に東山粟田口にあります青蓮院に療病院として設立されました。昨年の2022年に創立150周年を迎え、日本でも屈指の歴史を誇る大学です。当時、明治維新の混乱の中、また天皇が東京に移られた後、京都府民の心にぽっかりと空いた穴を埋めるように、府民の期待を一身に背負って設立されました。鳥羽・伏見の戦いで負傷した藩士を見事に治癒に導いた西洋医学を目の当たりにした先人達の設定に対する信念は、「世界トップレベルの医学を地域へ」という大学の理念に引き継がれています。

150年の歴史の中で、国立への移管を拒否し、あくまでも公立であることに拘り、自由な学風を保ちながら高度な教育・研究・診療を行って参りました。また看護学の教育も明治22年から始まり多くの看護師を輩出してきました。このような歴史的背景から「府立医大」「府立医大病院」と呼ばれ、京都府民の皆様から絶大な信頼を頂いていると自負しています。

大学の運営方針は、世界に伍する研究大学であること、また同時に特色ある地域中核大学であることをミッションとし、それを実現するために世界トップレベルの研究・臨床を展開しています。また大学の使命の根幹である人材育成に関しては学修者本位の教育を目指して、必要に応じて教育プログラムの改変を行っています。何を教えたかではなく、何を学び何を身に付けたかを確認しながら、明日の医学・医療を担う世界へ羽ばたける人材を輩出しています。

現在、我々を取り巻く地球環境・社会環境は目まぐるしく変化しており、地球温暖化、気候変動、また国内においては人口減少、少子高齢化、それに伴う疾病構造の変化、もちろん新興感染症のアウトブレイクのリスクはグローバル社会においては少なからず存在します。そのような未来環境の中で、医学・医療そしてそれらを含むヘルスサイエンスは無くてはならない分野になってきます。我々京都府立医科大学は、医学・看護学の分野において新たな一歩を踏み出したいと考えている皆様に全力で応援します。是非あなたの情熱と意欲をもって受験に挑戦してください。私たちはあなたの可能性を信じています。



大学沿革

京都市立医科大学は1872年(明治5年)に設立されて以来150年の歴史を誇るわが国でも最も古い医科大学の一つです。

本学の設立に至る経緯は極めてユニークなものです。1868年(明治元年)から京都府を通じて西洋医学の教育病院を設立したいと願っていた京都府民は、自らの寄付によって、京都東山の青蓮院の境内に病院を建て、そこにドイツ人医師を講師に呼んできたのです。多くの医科大学・医学部では、まず大学などの教育施設ができ、その研修の場として附属病院が作られましたが、本学においては、府民の医療を第一とする病院がまず作られ、次にこの病院での医療・医学を担う人材を養成する場として大学が位置付けられました。

1871



明石博高医師

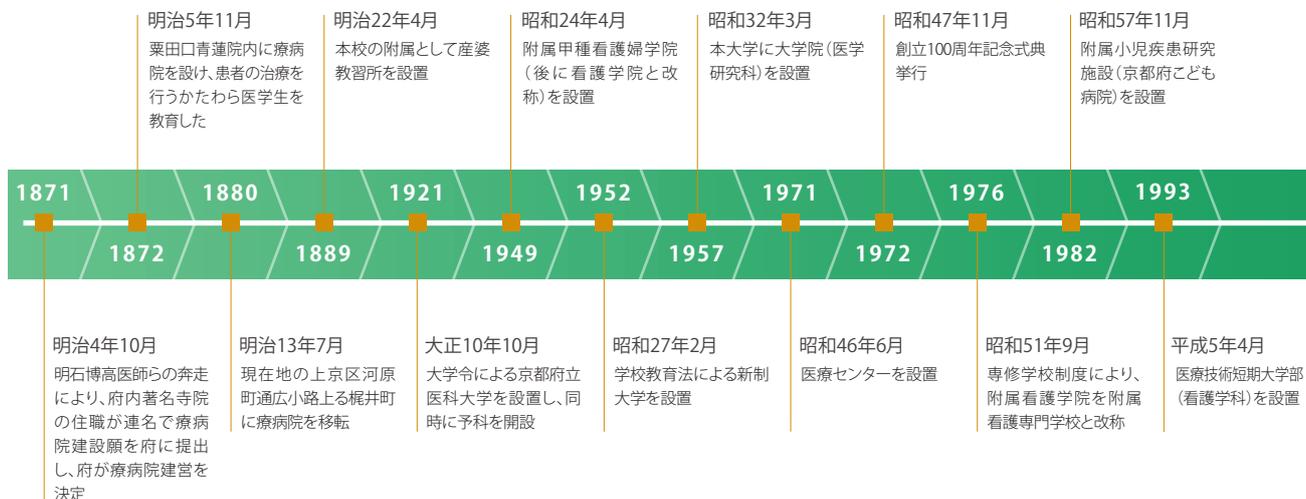


療病院建営の告諭

1929



中央図書館【旧 附属図書館棟、現 大学本部棟】



1872



仮療病院(青蓮院宸殿)

1921



創立50周年・大学昇格記念式典

1952



新制京都市立医科大学

また、看護学科は1889年(明治22年)に設置された附属産婆教習所に始まり、附属看護専門学校、医療技術短期大学部などの変遷を経て、2002年(平成14年)から医学部看護学科として設置されています。

設立以来、本学は地域社会の要請に応えることのできる優れた医療人、研究者を養成するという使命を担い、今日に至るまでこの設立方針が堅持され、府民から絶大な信頼が寄せられています。

1993



医療技術短期大学部棟【現看護学科棟】

2022



創立150周年 大学本部棟



1972



創立100周年記念式正面

2012



大学門

医学部

医

学

科

School of Medicine

医
学
科



医学科の教育方針

京都府立医科大学は、1872年（明治5年）に設立された「療病院」を起源とする日本最古の医科大学の一つであり、開学から現在までの150年間に1万1千人を超える医師・医学研究者を国内外に輩出してきました。本学の長い歴史と伝統に磨かれ形となったのが本学の理念「世界トップレベルの医学を地域へ」です（アドミッションポリシーより）。

医学科では、幅広い教養、高い倫理観、高度の専門的知識・技術を有しプロフェッショナリズムを持ち合わせた優れた医師・医学研究者を育成するとともに、探究心旺盛で多様なニーズに対応でき、国際的に通用する人材を育成することを教育の使命としています。令和4年度に日本医学教育評価機構の医学教育分野別認証（2巡目）を受審し、令和5年に正式に認証を受けました。以来、「国際認証型」のカリキュラム教育を実施しています。また国が策定した「平成28年度改訂医学教育モデル・コア・カリキュラム」に収載の1790の履修項目を全てカバーし、これに教養・医学基盤、基礎・社会医学、臨床医学の各教室の学体系を基盤とした独自のカリキュラムを加えて、医の心から最新の医学・医療まで広く学べるよう工夫しています。加えて、基礎・社会医学教室の研究配属、京都府中北部地域の中核的な病院での地域医療実習、さらに欧米、アジアを含む海外における交流協定を締結している大学への臨床実習派遣など、様々なプログラムが用意されています。学生と教員との距離が近いことも本学医学科の特色です。歴史と伝統の誇りを持ちつつも自主自立を旨とし、学生一人一人の視点や価値観を尊重した自由・闊達な学びの環境を提供します。

以上のような教育方針を十分に理解され、生涯にわたって学び自己研鑽し、医学・医療・社会に貢献しようという高い志をもった若者を、医学科は求めています。

カリキュラム概要

卒前～卒後 一貫教育プログラム

学びの街・京都の恵まれた環境に広がる、河原町、広小路、下鴨の3つのキャンパス。設立以来、脈々と受け継がれてきた教育理念のもとに、歴史と伝統に培われた独自の基礎・臨床医学の統合カリキュラムによって、新たな時代を拓く医師及び医学研究者を育成しています。

第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年

入 学	I	II	I	II	I	II
	教養・医学基盤教育 早期体験実習		基礎医学 (講義・実習)		臨床医学 (講義・演習)	
	三大学教養教育 合同講義				ユニット講義	
	縦断講義				教養英語・医学英語	



教養・医学基盤教育(下鴨キャンパス)

教養・医学基盤教育では、人類が築き上げてきた知の体系を学ぶと同時に市民としての自己を確立することを目指します。また、医学を学ぶための基盤教育も行います。将来、医師・医学研究者となる医学生は、語学や自然科学の基盤的な学力を養うと同時に、人類・世界の未来を担う幅広い教養と視野を持ち、他者を理解するコミュニケーション能力を養うとともに、現代の諸問題を理解するための知識とその解決策を探る判断力を培う必要があります。本学附属病院での早期体験実習や基礎・社会医学系研究室で、自ら考え主体的に研究に取り組む実習カリキュラムも用意されています。



入学～卒前臨床実習～卒後臨床研修までの8年間をサポート

基礎医学

基礎医学は人間の体の構造と機能を究明する学問であり、医学・医療の根幹をなす分野です。生命現象がどのようなメカニズムで精密に制御され調和を保っているのかを分子、形態、機能の多角的側面から学びます。さらに、このような制御や調和が乱れて修復できなくなった時、疾病が起こることというを理解します。第2学年で解剖学、生理学、分子医科学、病理学、感染病態学、免疫学及び薬理学を学修し、臨床医学を学ぶ基礎を築きます。



臨床医学

臨床医学の進歩はめざましく、臨床医には高度に細分化された専門知識と技能が要求されています。同時に、それらを統合して受け止め、幅広い理解の下に臨床医学を実践できる能力も必要です。本学では、このような資質を持った医師の育成を目指して臨床医学の教育を進めています。また、附属病院が誇る世界トップレベルの最先端医療に触れることにより、医療の持つ無限の可能性を感じることでしょう。



ココに注目！・・・①ユニット講義

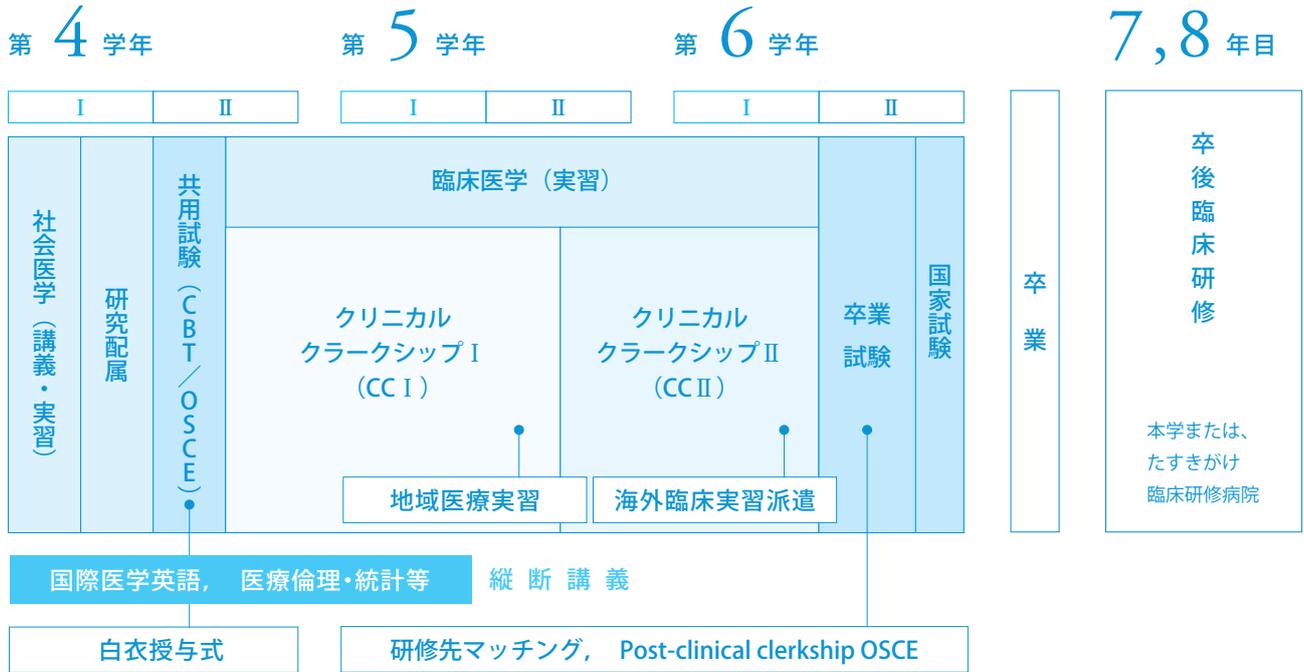
従来の基礎・臨床医学の枠を超えて、臓器別の疾患をよりよく短期間に理解・習得するために、「循環器」「消化器」「呼吸器」および「神経」の4領域についてユニット講義を行っています。一定期間に臓器別の内科学・外科学・放射線医学等と（水平統合）、病理学を主体とする基礎医学を有機的に統合し（垂直統合）、期間の終了時にはそれぞれの定期試験を行い評価します。PBL (Problem-based learning) や TBL (Team-based learning) の手法を積極的に取り入れ、臓器別メディカルセンター（病棟）での臨床実習に備えます。

ココに注目！・・・②英語教育

現代の医学における共通言語は英語です。日々新たな医学論文や医療情報は英語で発信され、自分たちの医学上の発見や医療情報を発信する際には英語で行います。本学では、第1学年だけではなく高学年でも縦断講義として英語教育を行い、英文の医学研究論文を読み取る能力、医学研究成果や症例を英語で発表する能力、そして科学的な議論を英語で行う能力の涵養に努めています。令和4年度からは第4学年を対象に、国際的な医療コミュニケーション能力の涵養を目的とした「国際医学英語」を開講しています。

カリキュラム概要

卒前～卒後 一貫教育プログラム



医
学
科



社会医学

保健・予防医学では、分子レベルの手法から人々を集団として捉える疫学的手法まで、様々な方法を活用して社会との関わりにおける健康課題の解決を目指します。また、法医学では、現代社会における犯罪の複雑巧妙化、死因不明死体の増加、死因の複雑化、虐待事案の増加、医療関連死の増加など、数々の社会問題への評価・対応を法律的及び医学的視点から学びます。



入学～卒前臨床実習～卒後臨床研修までの8年間をサポート

CBT/OSCE

第4学年の秋には、全国レベルの統一テストであるCBT (Computer-Based Testing) と、臨床実技の試験であるOSCE (Objective Structured Clinical Examination) を受験します。両者に合格し、全ての臨床医学科目の座学の履修を完了すると"Student Doctor"の称号が与えられ、臨床実習への参加が許可されます。

白衣授与式

"Student Doctor"の称号が与えられた者には、「白衣授与式」で大学のLogoの刺繍のついた白衣が学長から授与されます。学生たちは身の引き締まる思いで白衣に身をつつみ、附属病院での臨床実習に臨みます。

臨床実習(クリニカルクラークシップⅠ・Ⅱ)

第4学年後半から始まる臨床実習では、医療チームの一員となって医療現場を経験し、様々な疾患の病態や診断・治療を学びます。臨床実習で得られる知識や技能はとても大切なものです。

CCIでは少人数の班に分かれてすべての診療科や部門をローテートし、主に外来や入院の患者を対象とした実習を行います。ここでは単に暗記した知識だけで対応するのではなく、自ら問題を見出し、自ら問題を探究・解決するという姿勢が求められます。また、医師が患者やその家族といかに関わっていくべきかを学びます。

後半のCCⅡでは、主として本学の教育関連病院で実習を行い、大学病院とは異なる臨床現場を経験します。各病院の担当医は本学の臨床教授や臨床准教授を兼ねており、大学と教育関連病院が一体となった有機的な臨床実習が行われています。



ココに注目!・・・③基礎・社会医学教室への研究配属

第4学年の6月から6週間にわたって基礎・社会医学系教室の研究室に配属されます。ここでは基礎研究を体験し、実験手技を学んだり基礎医学教員の姿に触れたりしてリサーチマインドや能動的に新しい分野に挑戦する態度を養います。意欲のある学生は教官の指導の下に学会での発表や論文執筆を行い、さらに海外の研究室での研究に参加することができます。

在 学 生 の 声

**医学科 第1学年**

岩森 咲空 (大阪府・西大和学園高等学校 出身)

所属クラブ：軟式庭球部、軽音楽部

第1学年は、京都府立大学のある下鴨キャンパスで教養教育を受けます。将来医師、医学研究者になるために必要な教養教育という観点で、どう医学に関連するのかを教えてくださいの授業がたくさんあります。また一部の授業は、京都府立大学、京都工芸繊維大学との三大学合同で行われます。幅広い分野の中から興味のある講義を、他大学の学生とともに受けることができます。入学してすぐ、6月に附属病院で早期体験実習があり、自分の将来像を考える良い機会となります。

部活動も盛んです。入学するとすぐに様々な部活の新歓のイベントがあり、大学の雰囲気を感じることができます。初心者でも優しく教えてもらえるので、新しいことにも挑戦しやすいです。同学科の先輩との交流も多く、学生生活でわからないことも教えてもらえます。

同じ志を持つ人たちと共に協力して学生生活を送ることができるのは、府立医大ならではのだと思います。皆さんが本学に入学し、共に充実した日々を送ることができるのを楽しみにしています。

医学科 第4学年

小笠原 彩花 (京都府・京都府立洛北高等学校 出身)

所属クラブ：卓球部、混声合唱団たちばな

第4学年では予防医学・公衆保健科学・法医学といった社会医学を学びます。第3学年までの基礎・臨床医学ではヒトの体の中でどんな現象が起きているのかについて細胞や器官のレベルで学んできたのに対し、社会医学は社会全体の視点から医療をとらえ、医療を社会にどう還元するかについて多方面から考える学問です。「病気」だけでなく「人」や「社会」への理解が深まるので、とても新鮮で、世界が広がっていくように感じます。また、研究室配属の期間があり、各研究室の先生方のもとで基礎・社会医学の研究を体験することができます。年度後半からは臨床実習が始まり、これまで座学で学んできた知識を生かしながら実践的に医療を学んでいきます。

学生生活では、勉強だけでなく趣味や部活動、学校行事など様々な活動に積極的に取り組む同級生がたくさんいます。府立医大で、皆さんと共に充実した学生生活を送れることを楽しみにしております。

**医学科 第6学年**

権藤 航星 (滋賀県・洛南高等学校 出身)

所属クラブ：バドミントン部

第6学年ではCC IIと呼ばれる臨床実習を行います。この実習では自身が興味を持つ診療科を8つ選択し、1ヶ月単位で実習にあたります。臨床の現場がより身近になり、入院患者さんの経過を見ながら治療方針を先生方と共に決定していきます。その際どのように考えて検査のオーダーを出したり薬剤を処方したりするのか実践的な助言をいただけるので、大変勉強になっています。

CC IIでは学外の関連病院や海外の提携大学でも実習が可能です。私自身もイギリスのエディンバラ大学に1ヶ月間留学させていただきました。この貴重な経験のもとに、海外と日本それぞれの知見を統合していき、本学のスローガンである「世界トップレベルの医学を地域へ」還元できる医師になることが将来の目標です。本学には皆さんの理想の医師像を追求していける素晴らしい環境が用意されています。ぜひ皆さんが入学され充実した学生生活を過ごされることを心より祈っております。



卒業生の声

昭和30年卒業 藤田 哲也 (本学元学長)

ルイ・パストゥール医学研究センター 分子免疫研究所シニア・フェロー
昭和52年朝日賞、平成2年島津賞 平成8年紫綬褒章

誇らしき哉、わが母校

私が京都府立医科大学を常々誇らしく思うのは、その創立以来一度も中断することなく続いた歴史が150年にも及び、これが東京大学医学部創立に遅れること僅か3年で創立された医学教育機関として、本邦第二位であり、卒業生の数もそれに比例して多いというような物理的な数値だけを意識しているわけではありません。

私は、母校の卒業生が実に多彩な分野で活躍しているということを最も誇らしく思っているのです。国内だけでなくアメリカやドイツなどの有名な大学で傑出した活躍をしている教授や研究者たちもおれば、臨床家でありながら岩波文庫で近代詩集を残した詩人、映画監督として一流になった人、作曲家兼演奏家として一世を風靡したのち医系の大学教授になった人など、わが母校がいかにもリベラルな人間らしい教育をしてきたか、如実に証明していると思っています。当然でしょうが、臨床医師として京都府を中心に活躍している人の数は一番多く、この意味で母校が地域医療に貢献している程度は、全国の医系大学では最高であることに間違いはありません。一方、看護学科も実は、明治22年、日本政府公認の産婆教習所の開設以前に、明治5年から療病院で、ドイツ人医師ヨンケルが看護師(助産師含めて)の教育を始めており、これは疑いもなく日本で最初の洋式看護学教育の始まりを告げるものでした。私が母校、京都府立医科大学を卒業したのは昭和30年でしたから今年で68年になりますが、私が直接目撃してきた母校の発展振りに、毎日、大きな誇りを感じているこの頃であります。



昭和57年卒業 島田 和明

国立がん研究センター中央病院 院長

個性を尊び、国内外にはばたく医師を育成する我が母校

京都府立医科大学卒業後の進路で悩んだ際に、当時の学長や外科教授の先生方が親身に相談にのっていただき、東京大学の外科教室にご紹介いただいたのが、現在の国立がん研究センター中央病院肝胆膵外科で勤務するきっかけになりました。本学は150年以上に及ぶ歴史のある医科大学です。長く続く伝統ゆえに厳めしい印象を与えがちですが、本学には学生を大事にする懐の深く、温かい教育方針を感じます。皆様にもこのような本学に入学され、個性を尊び、国内外にはばたく医師を目指していただければ幸いです。



平成元年卒業 川野 美香

International Health Regulation / Health Security and Environment

世界保健機構 (WHO) ジュネーブ本部の窓から

4年の外科の臨床勤務の後、厚生省〔現厚生労働省〕へ医系技官として入省、健康政策局健康指導課、薬務局審査課を経て、世界保健機構(WHO)に勤務26年目になります。京都府立医科大学は公衆衛生の視点が医学教育の随所に織り込まれており、医学だけでなく、それを取り巻くシステムや環境にも目を向ける姿勢が自然と身に着いたように思います。現在はWHOの感染症対策局にあり、エボラやコロナの対応に携わる傍ら、WHOのInternational Travel and Healthの改訂も担当しています。



平成28年卒業 玉井 瑞希

京都府立医科大学附属北部医療センター 外科

地域医療を担う外科医として

高校生当時から地域医療に興味があり、平成22年に現在の学校推薦型選抜(以下「推薦制度」)で入学しました。在学中は一般入試で入学した同級生と変わらぬ学生生活を送りましたが、卒業後の初期臨床研修からは推薦制度の中で自身のキャリアを形成していくこととなります。

私は臨床研修修了後に本学の外科学教室消化器外科学部門に入局し、消化器外科医として修練を積んでいます。鼠径ヘルニアや胆嚢結石症などの良性疾患のみならず、胃癌や大腸癌あるいは膵癌などの消化器癌も多く担当しています。また、丹後半島で唯一の土日夜間に緊急手術が可能な病院として、近隣病院等からの救急疾患も積極的に受け入れています。

当院は本学附属施設のため、京都府立医科大学出身の先輩方と日々の診療にあたる事がほとんどです。本学のつながりが活かされた診療が当院の強みであり、これにより京都府北部地域の医療が支えられていると感じています。



医学部

看

護

学

科

School of Nursing

看
護
学
科



看護学科の教育方針

看護学は実践の科学です。19世紀の半ば、F.ナイチンゲールは、ヨーロッパで中世から修道女達によって行われてきた看護を理論づけ、また看護の効果検証に統計学を用いるなど、科学的根拠に基づいた看護を実践することで、現代に繋がる近代看護学の礎を築きました。

本学の看護学科は、我が国における近代看護学教育の黎明期、1889年(明治22年)に開設された京都府医学校附属産婆教習所を淵源とし、130年を超えるこれまでの間に1万人以上の看護職を輩出するなど、ナイチンゲールの存命当時から続く数少ない看護師等養成機関の一つです。2002年(平成14年)には、京都府で初めての看護系大学(医学部看護学科)となり現在に至っています。

看護職者には生命や人間の尊厳を尊重できる豊かな人間性と創造性が必要です。また、専門的な知識や技術は元より、主体的な看護を実践するための科学的思考に基づく判断力、チーム医療を推進する上での協調性及び調整能力に加え、国際化が進む中、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力も求められます。

長い歴史と伝統を通じて、今も息づく「Heart、Hand、Head」(心と技術と知識のバランスのとれた看護職者の育成)の精神が受け継がれています。

本学の看護学科では、この理念を基底に、全人的な理解をもとに看護を展開できる看護職者の育成に向け、人としての感性を磨き、視野を広げる「基礎・教養科目」、看護学の基礎を学ぶ「専門基礎科目」、専門性を培い、その能力をさらに高める「専門科目」を段階的に学修することで、看護専門職として、また、社会に貢献できる人材として必要となる総合的な能力の涵養を図っています。

QOL(クオリティ・オブ・ライフ)の概念が社会に浸透し、Cure(キユア)だけではなくCare(ケア)の重要性に注目が集まる中、Careの探究を学問領域とする看護学の重要性はますます高まっています。

将来に向けて看護を学び続ける意欲と姿勢を持ち、自立した看護職者となるよう、私たちも学生の皆さんとともに努力を重ねてまいります。

カリキュラム概要

看護学科では、基礎・教養科目、専門基礎科目、専門科目を配置し、それぞれの講義・演習・実習を通じて、生命及び人間の尊厳を基盤に豊かな人間性と創造性を培い、看護専門職として総合的な能力を有し社会に貢献できる人材を育成するために、以下に示した6つの方針に従ってカリキュラムを組み立てています。

- 1 生命及び人間の尊厳の理解に基づく高い倫理観の形成、人間性及び環境への深い洞察力の育成
- 2 看護の専門職として必要な知識・技術・態度とあらゆる看護の場において主体的に看護が実践できる能力の育成
- 3 科学的思考に基づいた判断力、問題解決能力の育成
- 4 地域医療やライフステージなど様々な看護ニーズに応えることのできる、保健・医療・福祉との連携・調整を図る能力の育成
- 5 国際理解とコミュニケーション能力を基にして、グローバルな視野で健康問題を理解し、看護活動ができる能力の育成
- 6 社会の変化に対応して看護を発展させ、自ら課題を探求し、研究していくことができる基礎的能力の育成

総合的な能力を育む基礎・教養科目、専門基礎科目、専門科目

	基礎・教養科目	専門基礎科目	専門科目		
			看護学の基本	看護学の展開	看護学の統合と発展
生命及び人間の尊厳の理解	生命倫理、人権論など		生活援助論、基礎看護学実習	成人・小児・母性・老年・精神・在宅の講義・演習	
主体的に看護が実践できる能力		人体構造機能論、生化学など	看護基礎理論、看護方法論など	成人・小児・母性・老年・精神・在宅の演習・実習	看護の統合と実践(演習)(実習)
科学的思考に基づいた判断力、問題解決能力			ヘルスアセスメント看護方法論	成人・小児・母性・老年・精神・在宅の講義・演習・実習	研究方法論 看護マネジメント論
保健・医療・福祉との連携・調整を図る能力		社会福祉学、医療と経営、家族社会学など		成人・小児・母性・老年・精神・在宅の実習	看護の統合と実践(実習)
国際理解とコミュニケーション能力	英語、中国語、ドイツ語、フランス語、英会話、国際情勢の理解				国際看護・国際保健、国際看護英語
自ら課題を探求し、研究していく基礎的能力					研究方法論、看護マネジメント論、災害看護論など



履修体系

第1学年

第2学年

第3学年

第4学年



第1・2学年

専門基礎科目と看護の基本を学びます。基礎教養は看護学舎と下鴨キャンパスで学びます。



生活援助論演習



成人急性期看護援助論演習

第3学年

後期から看護学実習が本格的に始まります。



実習前のグループ学習



フィジカルアセスメント自己学習

第4学年

これまでの学びを統合し、看護実践能力を高めるための看護の統合科目、卒業研究が配置されています。



看護の統合と実践



看護の統合と実践

4年間を通じたキャリア教育

学生自らが、将来・人生を設計し、自立した職業人としての生涯学習力や専門職業人として多職種と協働・連携する能力を育むため、4年間にわたり講義、演習、体験、個別指導、グループワークなど多様な学習方法を用いたキャリア教育を行っています。



キャリア教育



卒業研究発表会

保健師・助産師コース紹介

看護師に加えて、保健師・助産師を目指す人は、地域看護学・助産学の選択科目を履修することができます。
履修者は、3年次に上がる段階で、希望者の中から選考により決定します。

保健師コース

地域看護学選択

【保健師とは】

保健師の働く場所は、都道府県や市町村といった行政機関、学校や企業等があります。保健師は、地域で暮らす様々な年代や健康状態の人々を対象に、健康を守る役割を担っています。両親教室や乳幼児健康診査、高齢者の介護予防、障がい者の保健指導、家庭訪問、感染症対策、保健計画の策定など、その活動範囲はとても幅広くバラエティに富んでいます。

【本学の保健師教育】

本学の保健師養成課程は1951年(昭和26年)に始まり、現在に至るまで京都府内を中心に多くの先輩を輩出しています。本学では、地域で暮らす個人・家族・集団を「みる」、「つなぐ」そして「うごかす」力を大切に育てています。講義科目と現地実習を連動させた学習体系の中で、学生は保健師に求められる知識と実践能力を学びます。



助産師コース

助産学選択

【助産師とは】

江戸時代、お産の介助は産婆として職業化され、仕事の時には大名行列を横切ることが許されるなど、“お産の専門家”として、人々の尊敬と信頼を集めていました。

現在の助産師も、独立して助産院を開業することができるなど、助産行為の専門職として、助産診断を行うとともに、助産ケアを通じて、女性の妊娠・出産、産褥期が心身共に健康に過ごせるよう援助するほか、育児指導や不妊相談、更年期の健康相談などその活動は幅広く、女性の一生、そして家族に寄り添う職業です。

【本学の助産師教育】

1889年(明治22年)京都府医学校に附属産婆教習所が設置されてから130年の歴史があり、多くの卒業生が国内外で活躍しています。本学では、確かなエビデンスに基づいた知識や、女性が本来持つ「産み育てる力」を最大限に発揮できる助産ケアを講義・演習・実習で学びます。

地域における育児支援や健やかな思春期の成長発達を支援する助産師の役割は益々拡大しており、本学ではこのように高度な周産期医療を支える質の高い助産師教育を行っています。



卒業後について

地域の医療機関や施設において、看護師として従事するほか、保健師、助産師として活躍する道も！

卒業後の進路

卒業に必要な単位を取得することで、看護学士の学位、看護師国家試験の受験資格、また科目の選択により、保健師又は助産師国家試験の受験資格が得られます。

取得できる資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格(地域看護学履修者)
- 助産師国家試験受験資格(助産学履修者)
- 受胎調節実地指導員申請資格(助産学履修者)
- 養護教諭二種免許

保健師免許取得後、所定科目(※)を修得した者は申請すれば取得可能。

※教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

看護師国家試験結果

	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均合格率(%)
令和2年	81	79	97.5	94.7
令和3年	88	88	100.0	90.4
令和4年	85	85	100.0	91.3
令和5年	83	82	98.8	90.8

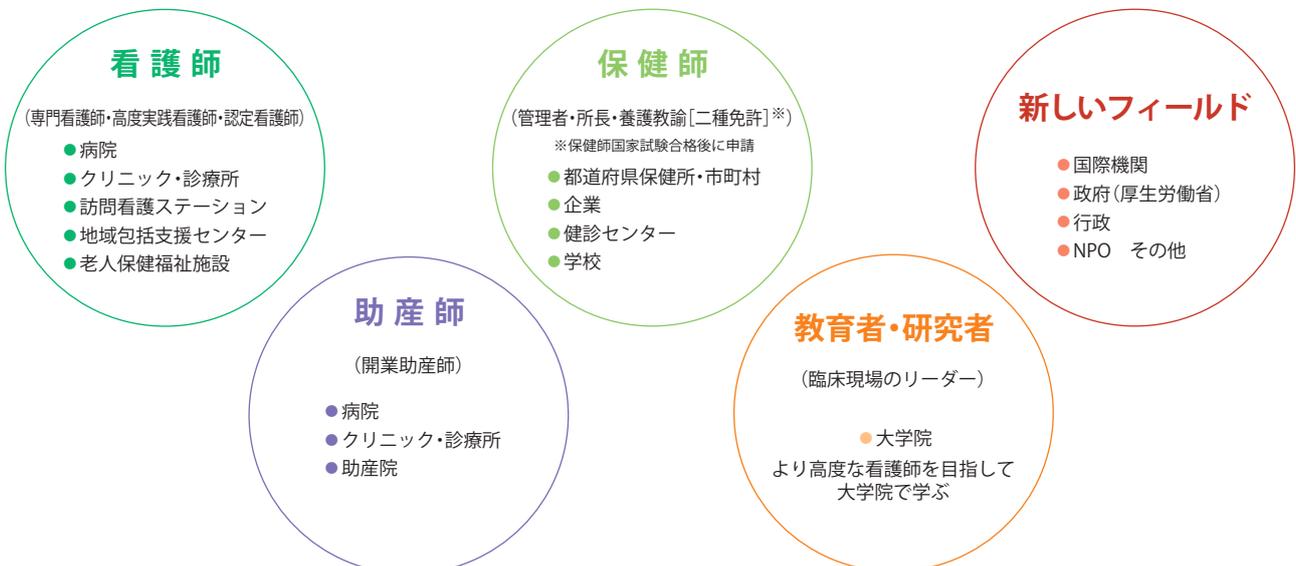
保健師国家試験結果

	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均合格率(%)
令和2年	20	20	100.0	96.3
令和3年	20	20	100.0	94.3
令和4年	20	19	95.0	89.3
令和5年	19	19	100.0	93.7

助産師国家試験結果

	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均合格率(%)
令和2年	9	9	100.0	99.5
令和3年	10	10	100.0	99.6
令和4年	8	8	100.0	99.4
令和5年	8	8	100.0	95.6

卒業後の活躍のフィールド



卒業後は、皆さんの将来に多様な活躍の場が開けます

在学生の声



看護学科 第1学年

金聖拳（京都府・京都府立鴨沂高等学校 出身）

所属クラブ：軟式庭球部、軽音楽部

京都府立医科大学に入学して2ヶ月近くが経ちました。1年生の前期では、基礎・教養科目を中心に看護のあり方や定義から学んでいきます。まだまだ自分の将来や実際の看護師像も想像できない中始まった大学生活ですが、多くの友人や先輩方に支えて頂きながら少しずつ励んでいます。

大学で過ごすことにおいて一番大切なことはやはり、人間関係だと思います。特に、上回生との繋がりは、大学生活を上手く生き抜くためや就職して困難にぶつかった時、大きな支えとなるでしょう。

この文章を読んでいる方は高校3年生が多いと思います。高校3年生は1番繊細な時期で不安も多いと思います。そんな中で、自分になりたい姿をイメージし、目標に向かって一歩ずつ進むことだけが、夢を叶える唯一の道だと思います。本学を目指している方とお会いできる日を心待ちにしています。

看護学科 第4学年(保健師コース)

日下部 涼那（滋賀県・滋賀県立石山高等学校 出身）

所属クラブ：ヨット部

私は地域看護学を選択しています。第3学年から本格的に地域看護学の授業がスタートしました。20人という少人数での授業が行われるため、学生同士、学生と先生方の距離が近く、質問や意見交換がしやすい環境が整っています。授業では、講義だけでなくグループワークやロールプレイなどの演習を通して様々な意見交換を行うことで、自分にはない考えに出会い、学びを深めています。地域看護学を専攻することで授業や実習は多くなりますが、心強い仲間や先生方のサポートのおかげで、日々楽しく充実しています。

新生児から高齢者、妊婦さん、病気を抱えておられる方など、地域で生活する人々の健康でその人らしい暮らしをサポートできることは、地域看護学の大きな魅力だと思っています。皆さんも本学で地域看護学を学び、素敵な保健師を目指してみませんか。



看護学科 第4学年(助産師コース)

坂上 みみ香（埼玉県・埼玉県立浦和第一女子高等学校 出身）

所属クラブ：ヨット部

私は助産学を選択しています。第3学年から本格的に始まる助産学の授業は、基本的な知識やアセスメントの視点を学ぶだけではありません。項目ごとに担当をわけて一から授業の構成・講義を行ったり、ロールプレイを取り入れて保健指導・沐浴・授乳支援を学習したりと、8人という少人数ならではの学習スタイルで行われています。1人の疑問を全員で共有できる環境で、自己学習だけでなく、お互いを刺激し合いながら学びを深めることができます。

看護学の講義や実習に加え、助産学の講義・実習をこなすことは大変ではありますが、学生一人ひとりのキャラクターを尊重した指導で支えてくださいます先生方、同じ夢を志す仲間たちのおかげで、楽しくのびのびと、学びの多い充実した日々を送ることができています。

助産師とは、新しい生命の誕生を支えるだけではなく、英語でmidwife「女性とともに」と表現されるように、女性の多様な生き方を尊重し、支えることができる職業で、病院・地域で幅広く活躍しています。

皆さんも一緒に本学で素敵な助産師を目指してみませんか。



卒業生の声



母校は看護を温かく見守り育てる母のような存在

本学附属病院 副病院長・看護部長

藤本 早和子 京都府立医科大学附属看護専門学校 平成2年度卒業
京都府立医科大学大学院保健看護学研究科 平成28年度修了

母校である京都府立医科大学附属看護専門学校を卒業後、附属病院に就職して現在に至ります。平成16年のがん性疼痛看護認定看護師を取得し、平成25年には緩和ケア病棟の看護部長として緩和ケアに携わり、平成27年から本学大学院保健看護学研究科において、臨床での疑問を学術的な側面から可視化する方法論を学ぶことができました。

平成30年4月より副病院長兼看護部長を拝命し、京都府民の皆様へ質の高い看護が提供できるよう尽力しています。母校は、様々な形で自分の看護を温かく見守り、育ててくれる「母」のような存在です。皆さんも、この大学で真の看護を育てていただきたいと思います。

大学4年間での出会いと学び

本学附属病院B8号病舎

平木 紗里 京都府立医科大学医学部看護学科 平成30年度卒業

大学卒業後、実習で実際の現場を見ていたことや多くの卒業生がおられることから附属病院へ就職することを決め、現在5年目となりました。私は地元が京都ではないので、京都には全く知人がいない状態での大学進学となりましたが、4年間を通してかけがえのない出会いがあり、本学に進学してよかったと思える学生生活を送ることができました。本学は臨床現場がすぐそばにあることが特徴で実習に行くと、卒業された先輩が医師、看護師として働いておられ、そういったアットホームさが本学にはあると思います。就職した今でも、大学の頃の同期が医師として入職してきたり、学生時代お世話になった看護部長さんと一緒に働くことができたりと、よりアットホームさを実感しています。

実習期間などは思い悩むこともたくさんありましたが、大学での経験はすべて今の自分の糧になっていると感じます。学生時代は学ぶ立場でしたが、現在は後輩や実習生を教える立場ともなり、どんな声掛けが学生の嬉しかったかなど振り返りながら関わらせて頂いています。勉学だけでなく、たくさんの経験、出会いを通して素敵な学生生活を送られることを願っています。



いろんな夢にチャレンジできる場所

京都府医療保険政策課 保健師

加藤 静香 京都府立医科大学医学部看護学科 令和元年度卒業

私は令和4年度まで保健所に勤務していました。コロナ真っ只中に京都府へ入職し、コロナ対応に追われながら、主に発達障害児支援や健康づくり事業をしていました。現在は京都府庁で医療保険政策に関する仕事をしています。府民の方の健康増進のために、関係機関と連携し、「行政としてできることはなんだろう」と悩みながら事業を進めていくことは大変ですが、やりがいを感じています。

学生時代は、看護実習や地域看護実習を通して患者さんや地域の健康課題に対するアセスメントの視点などを先生方に丁寧に教えていただき、その学びは今の仕事にもつながっています。

さらに本学は、4年間で看護師だけでなく保健師または助産師といった2つ以上の資格取得にチャレンジできるところが魅力だと感じています。また、勉学だけでなく部活動も活発に行われているので、学科を超えた交流や情報交換ができるのも強みだと思います。

勉強はもちろん大変だと思いますが、貴重な学生生活をぜひ皆さんのことにチャレンジしていただき、実りある時間を過ごされることを願っております。

看護師としての自分を今も支えてくれる場所

京都府立医科大学医学部看護学科小児看護学 助教

中口 尚始 京都府立医科大学医学部看護学科 平成23年度卒業

本学卒業後に附属病院で看護師として勤務し、他大学院で修士号取得および他大学での教員経験を経て、この看護学科へ教員として戻ってきました。本学を卒業して約10年が経過し、改めて振り返ると本学で学んだ看護が今も私の中にしっかりと根付いていることを実感します。これまでに臨床や研究、教育の場で様々な経験をしてきましたが、自分が悩み、迷い、立ち止まる時には、私の看護の原点である本学での学びに常に立ち返っています。本学で多くの先生方から教えていただいたこと、そして仲間や先輩・後輩と切磋琢磨したかけがえのない日々は、看護とは何かと問いつける自分の背中をそっと押してくれます。専門知識や技術の習得はもちろん、人をケアし健康を支援するという喜びや難しさを知り、様々な年代や地域の対象者に実践を重ねた本学での経験は「世界トップレベルの医療を地域へ」という理念をまさに実感できるものでした。本学で学んだ看護、そして本学でしか学べない看護を次の世代へつなげていくため、今、私は教員として日々邁進しています。

皆さんが本学で多くの経験や学び、仲間との出会いが得られるよう願っております。また、微力ながら、そのお手伝いをさせていただければ幸いです。



専門性を高め、自分自身も成長できる学びの場

大阪医科薬科大学病院 看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師

田上 恵子 京都府立医科大学大学院保健看護学研究科博士前期課程
がん看護専門看護師コース 令和3年度修了

私は、がん患者さんやご家族が今この瞬間を大切に生きようとしている姿を日々臨床で目の当たりにし、その時々喜び、悲しみ、期待や希望、絶望などの様々な思いを感じ、看護師として何ができるか葛藤し、緩和ケアに関心をもち臨床実践を積み重ねてまいりました。その中でさらにがんに関連した知識を深めケアの専門性を高めたいと考え、がん看護専門看護師を目指し、京都府立医科大学大学院へ進学しました。

大学院では、先生方や仲間を支えられ、がんに関する知識にとどまらず、一人の人間として、専門職として倫理的な視点を意識し学習や課題、研究に取り組み倫理観を養うことができました。また、自分自身と深く向き合う機会ともなり、充実した学生生活でありました。

現在は、がん看護専門看護師の資格を取得し、院内で緩和ケアチームの専従看護師として活動を始めております。大学院での学びを活かし、ひとりひとりに思いを寄せ、ともに歩む存在であるように日々努力しています。

看護についてじっくりと向き合える京都府立医科大学の環境で学びを深め、目指す看護を追い求めながら看護の道を進まれることを願っております。

医学研究科

医科学専攻(修士課程) 統合医科学専攻(博士課程)

医科学専攻(修士課程) 定員：10名 修業年限：2年 学位：修士(医科学)

学びの意欲にあふれる他学部の卒業生を対象に医科学の基礎的教育を体系的に提供

修士課程は、理学、薬学、工学などの医学以外の大学の学部を卒業後、医科学に高い志向性を持ち、大学院においてさらに研究を深めたいと願う学生に対して、医科学の基礎的教育を体系的に提供し、個々の特性を生かして医学研究の学際的展開を図りうる研究者、技術者、ヘルスサイエンスの専門職として質の高い人材を育成することを目的としています。そして専攻や分野の別を超えて、研究マインドと優れた研究能力を備えた医療系人材の養成を目指しています。

修士課程には、がん領域と希少難病領域を含むゲノム医療全般に対応可能な認定遺伝カウンセラー[®]を養成するため、「遺伝カウンセリングコース」を設置しています。

医学隣接領域の背景をもつ学生が、本修士課程を通じて、出身領域と医科学を融合させ、これからの医科学分野をリードし得る優れた研究者、技術者や、ヘルスサイエンス分野の高度な専門職として羽ばたいてほしいと期待しています。

統合医科学専攻(博士課程) 定員：70名 修業年限：4年 学位：博士(医学)

世界をリードする創造的医学人材の育成

博士課程では、グローバルに発信する先端医学研究とローカルに実践する高度先端医療を実現できる人材育成を目指しています。地域に根ざしそこに暮らす人々に寄り添う医学・医療を実践してきた本学には、地域ネットワークやレジストリデータなどの特色あるリソースの基盤があります。また、独創性の高い世界レベルの基礎研究を発信してきた歴史もあり、基礎的分野から臨床医学まで、高度かつ融合的な医科学研究の指導を行います。

専門特化された履修内容及び充実の研究指導体制により、国内外の研究機関で活躍する優れた研究者を輩出

博士課程には「総合コース」、「がんプロフェッショナル養成専門コース」、「法医臨床医・法歯科医・法医専門医養成コース」があります。総合コースでは専門領域として、地域医療・社会医学、発達・成育医科学、先端医療・ゲノム医学、生体情報・機能形態学、病態解析・制御医学、機能制御・再生医学の6分野が置かれています。

がんプロフェッショナル養成専門コースでは質の高いがん専門医の養成を目的として、がんに特化した基幹科目を履修し、がん診療の専門的教育を受けながら密度の高い大学院教育を受けることができる環境を提供しています。

法医臨床医・法歯科医・法医専門医養成コースは、本学、滋賀医科大学、大阪医科薬科大学の3大学が共同で法医学の知見・能力を臨床医学等に活用できる医師、歯科医師を養成することを目的としています。

修了生の多くが大学や研究機関などで、また保健行政機関や関連病院などで、専門的知識を生かした医学研究者・高度医療人として活躍しています。



保健看護学研究科

保健看護学専攻(博士前期課程) 保健看護学専攻(博士後期課程)

現代のヘルスケアニーズに即した研究と実践

医療の飛躍的進歩や多様化、急速に進展する高齢化に伴い、高度医療の現場や地域社会において、質の高い看護実践能力・研究力を備えた看護専門職者が求められています。

大学院保健看護学研究科は、京都府内で初めての看護系大学院として、2007年(平成19年)に開設されました。

平成30年には博士後期課程を設置し、現代のヘルスケアニーズに即し、多様な分野でリーダーシップを発揮しながら活躍できる高度専門職業人および学際的な保健看護学の教育・研究者を育成します。

保健看護学専攻(博士前期課程) 定員：8名 修業年限：2年 学位：修士(保健看護学)

博士前期課程(修士課程)では12の研究領域、がん看護専門看護師コースを設置し、専門性の高い高度実践家、教育・研究者として必要とされる能力を育成します。令和6年度には、精神看護専門看護師コースの開設も予定されています。

がん看護専門看護師コース

本コース修了者は、日本看護協会の認定審査を経て、がん看護専門看護師の資格を得ることができます。2017年(平成29年)からは38単位教育課程として、ケアとキュアを統合した高度な看護実践能力を有するがん看護専門看護師を養成しています。現在までに14名の修了生全員が、がん看護専門看護師として活躍しています。

保健看護学専攻(博士後期課程) 定員：3名 修業年限：3年 学位：博士(保健看護学)

博士後期課程は、基盤実践保健看護学と広域実践保健看護学の2つの研究分野から構成されています。看護実践に活用可能な理論構築やシステム開発を目指し、科学的な思考に基づいた高度な研究・教育を推進します。保健看護学の研究推進に必要な高い倫理観、高度な研究能力、教育能力を備えた専門職業人及び学際的展開を図ることができる保健看護学の教育・研究者を育成します。

博士前期課程	
・基礎看護学	・看護倫理学・看護管理学
・成人看護学	・がん看護学
・精神看護学	・小児看護学
・母性看護学・助産学	・老年・在宅看護学
・地域看護学	・臨床健康科学
・小児発達保健学	・女性生涯保健学
専門看護師コース(38単位教育課程) <ul style="list-style-type: none"> ・がん看護専門看護師コース ・精神看護専門看護師コース(令和6年度開設予定) 	



博士後期課程
・基盤実践保健看護学
・広域実践保健看護学

府立医大の1年



4

5

6

7

8

9

- 入学式
- 新生オリエンテーション
- 学生定期健康診断
- 東京慈恵会医科大学との定期交流戦

- 追悼法要(納骨式)

- 大学院学位授与式
- 広小路音楽のタベ

- 前期試験(医1・看1~3)

- 夏季休業
- 夏のオープンキャンパス
- 西日本医科学生総合体育大会
- 夏期体験実習(医)~9月

- 京都府北部地域医療実習(医5・看3)
- 基礎看護学実習Ⅰ(看1)(実習スタート)
- CBT(医4)

キャンパスライフ

クラブ活動



体育部【全19部】

本学はクラブ活動が盛んで、多くの学生がクラブに所属しています。学生が最も力を入れている大会に西日本の44医学部が参加する「西日本医科学生総合体育大会」があります。また年に一度、東京慈恵会医科大学との定期交流戦が行われています。

- ワンダーフォーゲル部
- バドミントン部
- 硬式庭球部
- 弓道部
- 軟式庭球部
- ハンドボール部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 剣道部
- 卓球部
- 陸上競技部
- 準硬式野球部
- 水泳部
- バスケットボール部
- バレーボール部
- ヨット部
- ラグビー部
- 柔道部
- フットサル部





文化部【全9部】

本学の文化部は様々な分野にわたり大学と連携した活動を展開しています。他の大学との交流も盛んであり、鴨川のほどりという恵まれた環境の下で各々の学生が豊かな大学生活を謳歌しています。

- 写真部
- 音楽部交響楽団
- 東洋医学研究会
- 軽音楽部
- ESS
- 総合芸術部 (演劇部)
- 茶道部
- 混声合唱団たちばな
- 囲碁・将棋部



橘賞

本学学生の課外活動が積極的に行われることを奨励し、感性豊かな医療人の育成に資することを目的として、本学医学部に在籍する学生で他の模範となる特に優れた課外活動を行った者又は団体には橘賞を授与しています。



2

学生の1日



医学科 第2学年

寺崎 佳奈 (兵庫県・甲南女子高校 出身)

所属クラブ：剣道部

	月	火	水	木	金	土
1	統合生理学	分子生化学	細胞生理学	統合生理学	細胞生理学	剣道・遊びなど
2	生体構造	統合生理学	分子生化学	生体機能	ゲノム医科学	
3	解剖実習	ゲノム医科学	解剖実習	組織実習	細胞生理学	
4		統合生理学				
5	剣道	アルバイト	剣道		教養英語	
放課後					アルバイト	

- 6:30 **起床・準備** : 朝は本当にギリギリまで寝ているので毎朝時間との闘いです…笑。
- 6:50 **通学・登校** : 自宅から1時間半ちよつとです。基本的に実習の予習に追われていることが多いです…笑。
- 8:50 **授業** : 寝不足の日は睡魔と闘いながら受けます。早く授業が終わった時は仮眠をとることもあります。
- 12:00 **昼休み** : 生協食堂で友達とお昼ご飯を食べます。(おすすめは大学芋です!)1番楽しみな時間です!
- 12:50 **授業・実習** : 週に3回程度実習があります。
- 17:30 **部活 or アルバイト** : 部活(剣道部)では基本打ちから試合まで幅広く行います!稽古後はスッキリした気持ちになれます!アルバイトは週に2回程度塾のチューターをしていて、事務的な仕事や教材チェック、質問受けなどをしています。
- 22:00 **帰宅・夕食** : 帰りの電車では予習や課題をしたり、寝たりしています。
- 23:30 **入浴・就寝準備** : 寝る前に次の日の用意をすることが多いのです。
- 0:30 **就寝**

キャンパスライフ

5回生は、1週間すべてCC-I(クリニカルクラークシップ-I:臨床実習)です。

- 7:00 **起床・シャワー** : 朝に弱いので、起きるまで時間がかかります…笑。
- 7:45 **朝食** : よく前日の晩御飯が出てきます…笑
- 8:30 **通学・登校** : 下宿から自転車で大体15分くらい。登校したら白衣に着替えて集合場所に向かいます。
- 9:00 **実習** : 診療科によって様々ですが、手術の見学や問診、カルテ記載をします!
- 12:00 **昼休み** : 生協食堂でお昼ご飯を食べます(おすすめはネギトロ丼!)。寝不足の日は次の実習まで空き教室で寝てたりします…笑
- 13:00 - 17:00 **実習(午後)** : 次の日の準備が多いのですが、実習のまとめの日にはプレゼンもあります!
- 17:00 **部活 or アルバイト** : 部活(バレーボール)では基礎練習から試合まで幅広く行います!アルバイトは個別塾の講師をしていて、算数や国語を子供達に楽しく教えています。
- 22:00 **帰宅・夕食**
- 23:00 **入浴・就寝準備** : 実習学年は定期試験が少ないので、実習の勉強やレポート作成をすることが多いです。
- 1:00 **就寝**



医学科 第5学年

山本 純也 (京都府・洛星高等学校 出身)

所属クラブ：男子バレーボール部

	月	火	水	木	金	土
1	CC-1	CC-1	CC-1	CC-1	CC-1	バレーボール
2						
3			3			
4			4			
放課後	バレーボール	アルバイト(塾講師)	バレーボール	塾講師	バレーボール	



看護学科 第2学年

雨堤 望 (大阪府・大阪府立北野高校 出身)

所属クラブ：準硬式野球部(マネージャー)

	月	火	水	木	金	土
1		病態・ 疾病論I		感染免疫学		部活 (午後)
2	病態・ 疾病論II	地域看護学 概論	精神看護学 概論	母性看護 援助I	老年看護学 概論	
3	ヘルス アセスメント	英語IIA	薬理学	小児看護学 概論	母性看護 援助II	
4	病態・ 疾病論I	治療援助論	治療援助論	病態・ 疾病論II	母性看護 援助I	
5	生殖健康論	治療援助論	英会話I	母性看護 援助II		
放課後	部活		部活			

- 6:00 前 — **起床**
- 6:30 - 8:30 — **通学** : 2時間かけて通学しています。通学中は、好きな動画や音楽を視聴したり、授業の予習をしたりして過ごしています。
- 8:50 - — **講義** : 2回生から専門的な科目や演習が増えました。春の病院実習が楽しみです。
- 12:00 — **昼食** : 大学の生協食堂でできたてのごはんを食べるのが日課です。
- 16:30 - 19:00 — **部活動** : 下鴨キャンパスのグラウンドへ移動し、練習の補助をします。部活では、交友関係が拡がり、おしゃべりでリフレッシュでき、また補助の仕事にはやりがいも感じます。部活動は週3日あります。
- 21:00 — **帰宅** : 平日の夜は、次の日の授業に向けて早く就寝したり、課題をしたりしています。
- 23:30 — **就寝**

部活動のない日の授業後には、友人と買い物へ行ったり課題をしたりと、充実していて楽しい毎日です。休日にはアルバイト(博物館での接客)もしています。

3回生から看護学と並行して助産の勉強にも取り組んでいます。

- 6:30 - 8:00 — **起床・朝食** : 実習には体力がいるので朝食は必ず食べます。お弁当作り、家事を済ませて登校。
- 8:30 - 12:00 — **病院、施設実習** : 附属病院や学外施設で実習を行います。領域ごとに年齢、疾患や容体が異なる患者さんを担当します。
- 12:00 - 13:00 — **昼食** : 実習中は緊張していますが、メンバーとおしゃべりしながらの昼食でリラックスできます。
- 13:00 - 16:30 — **病院、施設実習、記録作成** : カンファレンスでは看護計画や課題などを実習メンバーや先生、看護師さんと話し合います。その後、実習を振り返り記録します。不明な点は先生に相談します。
- 17:30 - 19:00 — **自由時間、実習記録作成** : 帰宅後も記録を進め、方向性を考え看護計画を立てます。4回生になったら部活動はあまりできません。(もしくは週1回くらい参加します?)
- 19:00 - 22:00 — **夕食、入浴** : 実習中は忙しいのでズボラ料理です。美味しければ何でもOK。
- 22:00 - 23:30 — **明日の準備** : 就寝前に明日の目標と行動計画を立てます。今日も頑張った! 目覚ましを何個もかけて寝ます。



看護学科 第4学年

吉田 萌李 (京都府・京都府立宮津高等学校 出身)

所属クラブ：バドミントン部

	月	火	水	木	金	土
1						実習記録、 課題など (休憩に テレビ、 スマホ、 趣味、 買い物 など)
2	実習	実習	実習	実習	実習	
3						
4						
放課後	休憩、実習記録を進める					

地域医療実習 — 医学・看護学の共同実習 —

多職種連携や地域医療の現場を学ぶ

地域を担う使命感を持った医療従事者を育成するために、医学科生と看護学科生の合同により、地域滞在型の医療実習を本学附属北部医療センター、京都府北中部の基幹病院及び当該保健、福祉施設等で実施しています。

臨床現場の空気を肌で感じながら、地域医療の仕組みや各地域の実情を知るとともに、医療チームの一員としての貴重な体験をします。活動の成果は実習後の成果報告会で発表し、活動に関する評価を行います。



地域医療実習実施病院

- 京都府立医科大学附属北部医療センター
- 京都中部総合医療センター
- 綾部市立病院
- 市立福知山市民病院
- 国立病院機構舞鶴医療センター
- 京丹後市立弥栄病院
- 京丹後市立久美浜病院



地域医療実習に参加して



医学科 第2学年

田華 美咲 (京都府・四天王寺高等学校 出身)

所属クラブ：女子ハンドボール部

夏季休暇を利用し、京丹後市立弥栄病院と京都府立医科大学附属北部医療センターを訪問しました。どちらも京都府の北部にあり、地域医療に取り組んでいます。北部医療センターでは病院内や、周辺の施設を見学、散策しました。病院を見学するのは、本学に入学してから初めてのことだったため非常に印象に残っています。また、先輩医師の貴重なお話を伺うこともできました。ツアーに参加する前は地域医療が行われている場所はどんな所なのか、どのような医療が提供されているのか、漠然としたイメージしかありませんでしたが、将来のキャリアについてより深く考える機会となりました。道中では綺麗な海などの自然を眺め、とても充実した1日となりました。

医学科 第4学年

松家 瑞 (京都府・京都共栄学園高等学校 出身)

所属クラブ：卓球部、囲碁・将棋部

2022年8月に地域枠早期実習としてバスツアーに参加しました。「地域医療」という言葉はいろいろなニュアンスを含みますが、当時私は都市圏から離れた場所の医療というイメージを持っていました。しかし、北部医療センターでも弥栄病院でも同じ印象を抱いたのですが、施設が新しく、大きな病院で、環境が予想よりも充実していました。特に北部医療センターは地元が少し近いこともあり前から気になっていたのが非常に有意義な経験ができました。

またこのバスツアーではそれまで面識のなかった他の学年の地域枠の顔ぶれが知れて、今後長い付き合いになると考えると少なくとも一度は必要な機会だと思いました。



国際交流

海外の大学との連携・学術交流

本学では、現在の多様化・融合化・国際化する教育研究の広がりを踏まえ、海外の大学等との連携・学術交流を積極的に推進しており、下記にある6つの大学へ医学科生を派遣し、臨床実習を実施しています。

2021年に策定した「国際化推進プラン 2021」の下、今後は看護学科生の海外派遣についても検討していく他、医学科生の臨床実習先の拡大にも取り組んでいます。



【海外臨床実習派遣大学】

- ①オクラホマ大学
 - ②エディンバラ大学
 - ③リーズ大学
 - ④マーストリヒト大学
 - ⑤チュランロンコン大学
 - ⑥国立シンガポール大学
- (2023年4月現在)

学生団体KiSA



KiSAから始まる国際交流

代表 医学科 第5学年 吉富 新一

KiSA(KPUM International Student Association)は2019年4月に発足した本学公認の学生主体の国際交流団体です。外国人留学生と本学学生の交流促進を目指して活動しています。

現在KiSAでは、オンラインを活用した海外の協定校とのワークショップを年に数回開催しています。英語でのプレゼンテーションとディスカッションを通してそれぞれの文化について理解を深めるとともに、フリートークコーナーではお互いの国の学生生活についてなど気軽な日常会話を楽しんでいます。

また、留学生が来日した際に小旅行やイベントを企画し、交流を深めることもKiSAの活動内容のひとつです。コロナ禍による制限も徐々に緩和されて、近頃では対面での活動も増えてきています。

名前の由来である「喫茶」のように、KiSAでは留学生との気軽な交流をできるような活動をしています。

ぜひ国際交流の第一歩をKiSAで踏み出してみませんか？
みなさんのご参加をお待ちしています！

留学だより

エディンバラ大学に留学して

医学科 第6学年 吉田 大樹

私は2023年の4月に、エディンバラ大学での臨床実習に参加しました。

前半2週に回った循環器内科では、主に病棟実習と外来見学を行いました。現地の学生が意欲的に手技や身体診察に取り組んでいる姿勢が印象的でした。私も患者さんに問診や簡単な検査をさせていただく機会があり、医学英語の授業で行うようなロールプレイとは全く異なる緊張感が感じられ、とても良い経験になりました。

後半2週は小児病院に行き、救急科と小児外科で実習を行いました。小児外科では手術見学だけでなく、先生方が手術の合間に解剖や発生について教えてくださいたり、あるいはそれらについて説明してみる、と問いかけてくださったりして、知識があって初めて本質的な理解に結びつくのだということが再確認できました。

この4週間を通して、言語の壁よりもむしろ実習に取り組む意欲や姿勢に見つめ直すべき部分があるということの方が強く感じられ、とても良い刺激になりました。



教育スタッフ

京都府立医科大学の教育スタッフは、いずれも様々な分野の最先端で活躍してきたスペシャリストです。医師や看護職者を目指して学ぶ学生たちが、次世代の医学や医療現場で活躍できるよう、教員一人一人が持つ生きた知識やノウハウを活かした、高度で専門的な教育を実践しています。

学長
夜久 均



附属病院長
佐和 貞治



副学長(教育担当)
＜入試改革・大学認証＞
橋本 直哉



副学長(研究担当)
＜未来人材育成＞
八木田 和弘



副学長(地域医療担当)
＜大学整備・地域医療＞
的場 聖明



副学長(総務担当)
兼総合情報センター長
＜働き方改革・情報関係＞
浮村 理



医学科

● 教養教育

人文・社会科学教室

教授 瀬戸山晃一
【医学基盤教育部長】
研究教授 八木 聖弥

第一外国語教室

教授 木塚 雅貴

数学教室

教授 長崎 生光
講師 吉井 健悟

物理学教室

教授 高西 陽一
准教授 川野 輝彦

化学教室

教授 大庭 誠
准教授 武元 宏泰

生物学教室

准教授 野村 真

● 基礎・社会医学

解剖学教室

生体構造科学部門

教授 田中 雅樹
准教授 松田 賢一
講師 山田 俊児
講師 田口 勝敏

生体機能形態科学部門

教授 八代 健太
講師 小林 大介

生理学教室

細胞生理学部門

教授 樽野 陽幸

統合生理学部門

教授 八木田和弘
【副学長】
講師 土谷 佳樹
講師 小池 宣也
講師 梅村 康浩

分子医科学教室

分子生化学部門

准教授 栞原 康通
講師 吉田 達士

ゲノム医科学部門

教授 田代 啓
准教授 中野 正和

病理学教室

細胞分子機能病理学部門

准教授 原田 義規

分子病態病理学部門

准教授 穴戸由紀子
講師 藤本 崇宏

感染病態学（微生物・医動物）教室

教授 中屋 隆明
【研究部長】
講師 渡邊 洋平

免疫学教室

教授 松田 修
准教授 岸田 綱郎
講師 新屋 政春

薬理学教室

教授 榎村 敦詩
研究准教授 岩田 和実

保健・予防医学教室

予防医学部門

教授 武藤 倫弘
【学生部長】
准教授 宮本 真吾
講師 渡邊 元樹

公衆保健科学部門

教授 高嶋 直敬
講師 小山 晃英

法医学教室

教授 池谷 博
【附属図書館長】
准教授 新谷 香
研究准教授 市岡 宏顕
講師 井戸田 望

生物統計学教室

教授 手良向 聡

医療フロンティア展開学

准教授 高木 智久
講師 今井浩二郎

創薬医学

准教授 堀中 真野

基礎老化学

講師 渡邊 義久

医療レギュラトリサイエンス学

教授 林 憲一

細胞再生医学

研究教授 戴 平
講師 倉橋 敏裕

● 臨床医学

内科学教室

内分泌・免疫内科学部門

教授 福井 道明
病院教授 川人 豊
講師 河野 正孝
講師 濱口 真英

循環器・腎臓内科学部門

教授 的場 聖明
【副学長】

病院教授 中村 猛
准教授 全 完
講師 玉垣 圭一
講師 白石 裕一
講師 星野 温

呼吸器内科学部門

教授 高山 浩一
准教授 山田 忠明
講師 徳田 深作

消化器内科学部門

教授 伊藤 義人
准教授 小西 英幸
准教授 山口 寛二
講師 吉田 直久
講師 石川 剛
講師 森川 理久
講師 十亀 義生
講師 土肥 統

血液内科学部門

教授 黒田 純也
准教授 志村 勇司

脳神経内科学部門

准教授 笠井 高士
講師 尾原 知行
講師 能登 祐一

外科学教室

消化器外科学部門

教授 大辻 英吾
 准教授 藤原 斉
 准教授 窪田 健
 講師 生駒 久視
 講師 栗生 宜明
 講師 塩崎 敦

移植・一般外科学部門

講師 昇 修治

内分泌・乳腺外科学部門

教授 直居 靖人
 准教授 阪口 晃一

心血管・小児心血管外科学部門

准教授 神田 圭一
 准教授 沼田 智
 講師 小田晋一郎

呼吸器外科学部門

教授 井上 匡美
 准教授 下村 雅律

小児外科学部門

教授 小野 滋
 准教授 青井 重善
 講師 文野 誠久

形成外科学部門

病院教授 沼尻 敏明
 講師 河原崎彩子

脳神経外科学教室

教授 橋本 直哉
 【副学長】
 准教授 立澤 和典
 講師 高橋 義信

整形外科教室

教授 高橋 謙治
 准教授 白井 寿治
 准教授 生駒 和也
 講師 小田 良
 講師 長江 将輝
 講師 寺内 竜
 講師 岡 佳伸
 講師 外村 仁
 講師 井上 敦夫

スポーツ・障がい者スポーツ医学教室

准教授 新井 祐志

リハビリテーション医学教室

教授 三上 靖夫
 講師 大橋 鈴世
 講師 河崎 敬

産婦人科学教室

教授 森 泰輔
 准教授 カーンカレク
 准教授 藁谷深洋子
 講師 伊藤 文武
 講師 寄木 香織

小児科学教室

循環器・腎臓小児科学部門

講師 池田 和幸

血液・腫瘍・免疫小児科学部門

教授 家原 知子
 准教授 秋岡 親司
 准教授 今村 俊彦
 講師 大曾根真也

神経・内分泌代謝・新生児小児科学部門

講師 土屋 邦彦

眼科学教室

教授 外園 千恵
 講師 稗田 牧
 講師 上野 盛夫

皮膚科学教室

教授 加藤 則人
 【医療センター長】
 准教授 益田 浩司
 講師 浅井 純
 講師 峠岡 理沙

泌尿器科学教室

教授 浮村 理
 【副学長・総合情報センター長】
 准教授 本郷 文弥
 准教授 奥見 雅由
 講師 内藤 泰行
 講師 藤原 敦子

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

教授 平野 滋
 准教授 安田 誠
 講師 瀧 正勝
 講師 杉山庸一郎

精神医学教室

教授 成本 迅
 准教授 富永 敏行
 講師 中前 貴
 講師 綾仁 信貴

放射線医学教室

教授 山田 恵
 【国際学術交流センター長】
 准教授 鈴木 弦
 講師 赤澤健太郎
 講師 渡邊 啓太

麻酔科学教室

准教授 上野 博司
 准教授 小尾口邦彦
 講師 柴崎 雅志
 講師 石井 祥代
 講師 内藤 慶史

感染制御・検査医学教室

教授 貫井 陽子
 病院教授 稲葉 亨

救急医療学教室

教授 太田 凡
 講師 山畑 佳篤

病理学教室

人体病理学部門

病院教授 小西 英一
 講師 宮川 文

総合医療・地域医療学教室

教授 四方 哲
 講師 丹羽 文俊

疼痛・緩和医療学教室

教授 天谷 文昌
 【教育センター長】
 講師 小川 寛

歯科

病院教授 金村 成智
 講師 山本 俊郎

●教育センター

●中央研究室

RIセンター

研究教授 勝山 真人

実験動物センター

准教授 大塚 哲

■ 附属北部医療センター 病院長 落合登志哉

■ 看護学科

●看護学講座

基礎看護学領域

准教授 滝下 幸栄
 講師 山本 容子

成人看護学・がん看護学領域

教授 吉岡さおり
 【看護学科長】
 准教授 室田 昌子
 准教授 林 容子
 講師 佐伯 良子
 講師 越智 幾世
 講師 羽場千佐子

精神看護学領域

教授 郷良 淳子
 講師 占部 美恵

小児看護学領域

准教授 原田 清美
 講師 山口 未久

母性看護学・助産学領域

教授 松岡 知子
 講師 吉岡友香子

老年・在宅看護学領域

教授 毛利 貴子
 准教授 伊藤 尚子
 講師 川上 祐子

地域看護学領域

教授 志澤 美保

●医学講座

臨床健康科学領域

教授 島田 順一

女性生涯保健学領域

教授 楠木 泉

小児発達保健学領域

教授 森本 昌史

(令和5年7月1日現在)

研究活動

京都府立医科大学は、最先端の生命科学・医学研究を推進し、数多くの成果を世界の学術領域や医療の現場に発信しています。

京都府立医科大学の研究分野におけるランキング

※()内は前回の順位、大学数は2022年度の数(出典:AERAムック『大学ランキング2024』)

科学研究費補助金総額 (2022年度) ※教員1人当たり

金額	全公立大学中(96大学)	国公立医科大学中(25大学)	全大学中(796大学)
2,958千円	1位(1)	2位(2)	16位(14)

【新たな光明が輝く、内視鏡による新規治療法の開発】



武藤倫弘教授、大学院 分子標的予防医学

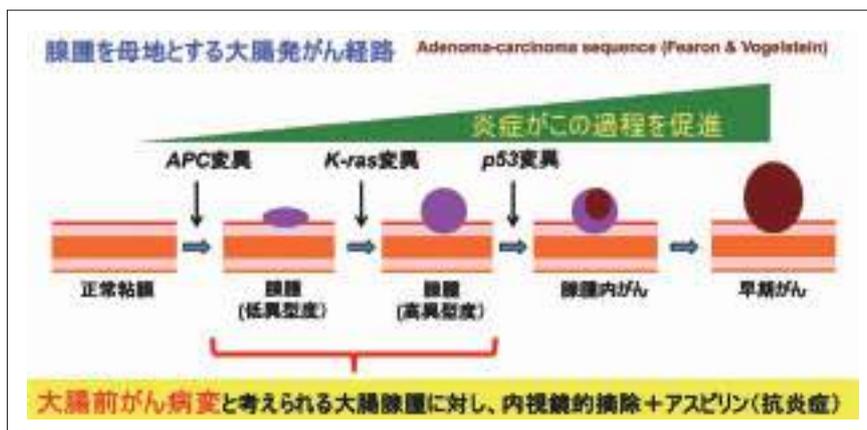
家族性大腸腺腫症(FAP)患者は日本に現在7,300人ほどいます。この病気はがんを抑制する遺伝子であるAPC遺伝子が働かなくなり、大腸に腺腫(ポリープ)が多発します(図)。大腸腺腫はがん化しやすく、FAPでは、若い年齢で大腸がんを発症してしまいます。これまでFAPに対する標準的ながん予防手法は「予防的な大腸全摘出術」しかありませんでしたが、近年手術を希望しない人が増えています。

そこで、京都府立医科大学を中心とするオールジャパンの研究チームは、大腸摘出術以外の方法で、FAPにおける大腸腺腫の新たな発生を抑える方法を開発しました。大腸内視鏡によって大腸腺腫を徹底的に摘除したり、炎症を抑える低用量アスピリンを服用してもらったりすることで、新たなポリープの発生を約4割抑えることに成功しました。

特に大腸内視鏡によるポリープの徹底的摘除を行う方法(IDP)は、令和4年度(2022年4月1日)の診療報酬改定において採用され、FAPの治療選択肢を増やすことに貢献しました。

さらに、FAPに対して低用量アスピリンが大腸がん予防薬として認められれば、一般人で大腸腺腫が見つかった人(軽～中等度で大腸がんリスクがある人)にも予防薬として、応用されることが期待されます。

本学に入学して、国民病であるがんの予防方法を一緒に考えてみませんか。



附属施設・関連施設紹介

京都府立医科大学附属病院



京都府立医科大学附属病院は、鴨川と京都御所を望む緑豊かな環境の中で、高度で専門的、かつ安全な医療を提供しています。毎日2000人以上の外来患者さんが訪れ、最新の医療機器を備える病棟は病床数714床で運用しています。府民の総合的な健康管理の中核となる医療機関として、最適な医療サービスを提供できる環境を備えています。本院は、特定機能病院、病院機能評価認定(3rdG:Ver1.1)、都道府県がん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院、第一種感染症指定病院、災害拠点病院などの指定を受けており、各分野で専門性の高い診療を行っています。附属病院は、一般の患者さんを診療するとともに、医学部の教育の中で大切な臨床実習の場でもあります。医学科、看護学科の学生はここで実地臨床の基礎を学び、さらに最先端の医学・医療に接しながら、医師・看護師としての基本的な心構えと知識・技能を身につけます。

京都府立医科大学附属北部医療センター

日本三景のひとつである天橋立が眼前に広がる附属北部医療センターは京都府立与謝の海病院を前身とし、2013年(平成25年)4月に発足して以来、丹後医療圏の大学附属病院として、また急性期医療を担う地域中核病院としてその歩みを進めています。地域がん連携拠点病院であり、全科を揃え、病床数は295床、医師は研修医11名を含めて69名、医療技術部、看護部、事務局は409名、委託業者164名が在籍し(令和4年4月現在)、一丸となって病院運営を行っています。地域医療が地域の事情、すなわち高齢化、人口減少、医療資源の不足といった状況に対処する医療、あえていえば地域包括ケアを支える医療であるならばその要としての責任は果たしていると自負しています。2023年度から当院を拠点とする総合診療・地域医療学講座が発足し、今後はさらに京都市内の大学附属病院とは異なる地域ならではの特色を持った医療・看護、教育、研究を推進して参ります。



附属図書館

附属図書館は広小路キャンパスにあります。和書・洋書を合わせて約9万冊の図書と、8400種類の雑誌、11000以上の電子ジャーナル、文献検索等のデータベースが利用できます。219席の閲覧室に加えて、AVルーム、セミナー室、ブラウジングルーム、情報検索室があり、グループ学習や研究会などの場として利用されています。



教養教育共同化施設 「稲盛記念会館」

府立植物園の東隣の下鴨キャンパスにあります。京都府立医科大学、京都府立大学、京都工芸繊維大学の三大学で、月曜日午後には共同の教養教育を行う施設です。京セラの故稲盛和夫氏の寄付により2014年(平成26年)に竣工しました。また、医学科の1年生は、入学から翌年1月まで、ここを拠点として講義を受け学習します。



永守記念最先端 がん治療研究センター

2017年(平成29年)、日本電産株式会社会長の永守重信氏よりがん治療研究施設および陽子線治療装置のご寄付を受け、本センターが開設されました。京都府内で唯一のがん陽子線治療施設であり多くの患者さんの陽子線治療を担うとともに、高度ながん予防・診断・治療の研究を推進しています。

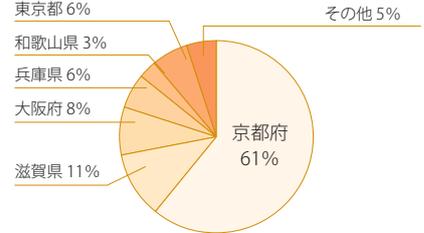
卒業後の進路，減免・奨学金制度等

主な就職先 卒業後は京都市内を中心に様々な医療機関や地方公共団体などへ

医学科 (1年目臨床研修病院)

本学附属病院 本学附属北部医療センター 市立福知山市民病院 国立病院機構舞鶴医療センター 綾部市立病院 京都中部総合医療センター 京都第一赤十字病院 京都第二赤十字病院 京都市立病院 武田病院 国立病院機構京都医療センター 洛和会音羽病院 洛和会丸太町病院 京都桂病院 京都済生会病院 京都岡本記念病院	宇治徳洲会病院 京都山城総合医療センター 市立大津市民病院 近江八幡市立総合医療センター 済生会滋賀県病院 大阪府済生会吹田病院 松下記念病院 北野病院 大阪赤十字病院 大阪警察病院 淀川キリスト教病院 岸和田徳洲会病院 住友病院 三船病院 兵庫県立尼崎総合医療センター 神戸大学医学部附属病院	神戸労災病院 神戸赤十字病院 明石市立市民病院 日本赤十字社和歌山医療センター 伊勢赤十字病院 虎の門病院 東京慈恵会医科大学附属病院 東京高輪病院 聖路加国際病院 東京都立墨東病院 昭和大学江東豊洲病院 湘南藤沢徳洲会病院 三井記念病院 総合病院国保旭中央病院 国立病院機構 埼玉病院 名戸ヶ谷病院
--	--	---

医学科卒業生1年目臨床研修病院 都道府県別割合 (令和4年度卒業生)



看護学科

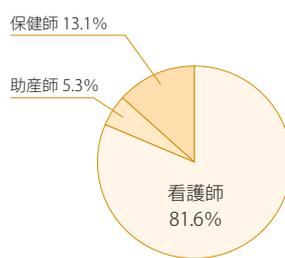
(就職)

本学附属病院 京都大学医学部附属病院 国立病院機構舞鶴医療センター 京都第二赤十字病院 京都民医連中央病院 京都桂病院 北山病院 三菱京都病院 大阪大学医学部附属病院 国立病院機構大阪医療センター 大阪医科薬科大学病院 淀川キリスト教病院 関西医科大学附属病院 兵庫県災害医療センター 東京大学医学部附属病院	虎の門病院 国立がん研究センター中央病院 済生会横浜市東部病院 SBCメディカルグループホールディングス 福岡市立こども病院 京都府 京都市 城陽市 茨木市
--	--

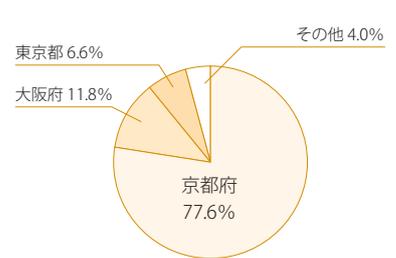
(進学)

京都看護大学大学院 京都光華女子大学助産学専攻科 神戸市看護大学大学院 天使大学大学院
--

看護学科卒業生 職種別就職状況 (令和4年度卒業生)



看護学科卒業生 都道府県別就職先 (令和4年度卒業生)



京都府には、本学附属病院(全体の36.8%)を含む。

減免・奨学金制度等

入学金、授業料の減免や奨学金など、経済状況に応じた学費支援制度が利用可能です。

入学料

- **医学科** 府内在住:282,000円 府外在住:493,000円
- **看護学科** 府内在住:169,200円 府外在住:282,000円

授業料(年額)

535,800円(前・後期の区分による年2回の分納となります。)
 ※金額は令和5年度の金額です。

入学料・授業料の減免

● 入学料の減免

学資困難その他の事情があると認められた者に対しては、入学料が減免、または徴収猶予される場合があります。

● 授業料の減免

成績が良好で、学資困難その他特別の事情があると認められた者に対しては、授業料が減免されます。

本学は「大学等における修学の支援に関する法律」が適用されている大学であり、日本学生支援機構の給付型奨学金の受給者は国の減免制度が適用されます。

下宿等

本学には学生寮はありませんが、大学の町・京都には昔ながらの情緒ある下宿から、都市型のワンルームマンションまで、学生向けの賃貸住宅が豊富です。

奨学金

● 日本学生支援機構奨学金(貸与奨学金)

優れた学生で、経済的理由により修学が困難な人に貸与されます。

種類	貸与月額
第一種奨学金 (無利子)	自宅通学 20,000円、30,000円または45,000円
	自宅外通学 20,000円、30,000円、40,000円または51,000円
第二種奨学金 (有利子)	20,000円～120,000円 (10,000円刻み)
入学時特別増額 奨学金(有利子)	入学月の基本月額に10万円、20万円、 30万円、40万円、50万円を増額

※貸与月額は令和5年度の金額です。

● ENT M Dr.浅野登&暉子奨学金

次世代を担う医師の育成を図るため、向学心がありながら経済的理由により修学が困難な人に、修学上必要な学資金(奨学金)を大学在学の期間支給することで修学援助を行う制度です。

● その他の奨学金

その他、地方公共団体や民間の事業団体による奨学金制度があります。

減免・奨学金制度についての詳細は、教育支援課(075-251-5167)へお問い合わせください。

入学試験情報

2024年度 入学試験概要(予定)

学科	試験区分	募集人員	出願期間	試験日
医学科	一般選抜(前期日程)	100	令和6年1月22日(月)～2月2日(金)	令和6年2月25日(日)、26日(月)
	学校推薦型選抜 (大学入学共通テストを課す)	7	令和6年1月17日(水)～1月31日(水)	令和6年2月10日(土)
看護学科	一般選抜(前期日程)	45	令和6年1月22日(月)～2月2日(金)	令和6年2月25日(日)
	学校推薦型選抜 (大学入学共通テストを課さない)	40	令和5年11月1日(水)～11月8日(水)	令和5年11月25日(土)

※一般選抜(後期日程)は実施しません。 ※試験詳細については、必ず各学生募集要項で確認してください。

2023年度 入学試験結果

試験区分別実施状況

学科	試験区分	募集人員	志願者数	第1次段階 合格者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	
医学科	一般選抜(前期日程)	100	352	300	281	101	100	3.5	
	男女別		男子	215	187	176	61		61
			女子	137	113	105	40		39
	現浪別		現役	188	171	159	61		60
		現役以外	164	129	122	40	40		
	学校推薦型選抜	7	29	-	29	7	7	4.1	
	男女別		男子	18	-	18	6		6
			女子	11	-	11	1		1
現浪別	現役		21	-	21	5	5		
	現役以外	8	-	8	2	2			
看護学科	一般選抜(前期日程)	45	58	58	56	45	45	1.3	
	男女別		男子	2	2	2	2		
			女子	56	56	54	43		43
	現浪別		現役	52	52	50	40		40
		現役以外	6	6	6	5	5		
	学校推薦型選抜	40	61	-	61	40	40	1.5	
	男女別		男子	4	-	4	4		4
			女子	57	-	57	36		36

※一般選抜(後期日程)は実施していません。 ※看護学科学校推薦型選抜は、現役生のみ対象です。

一般選抜(前期日程)合格者の得点

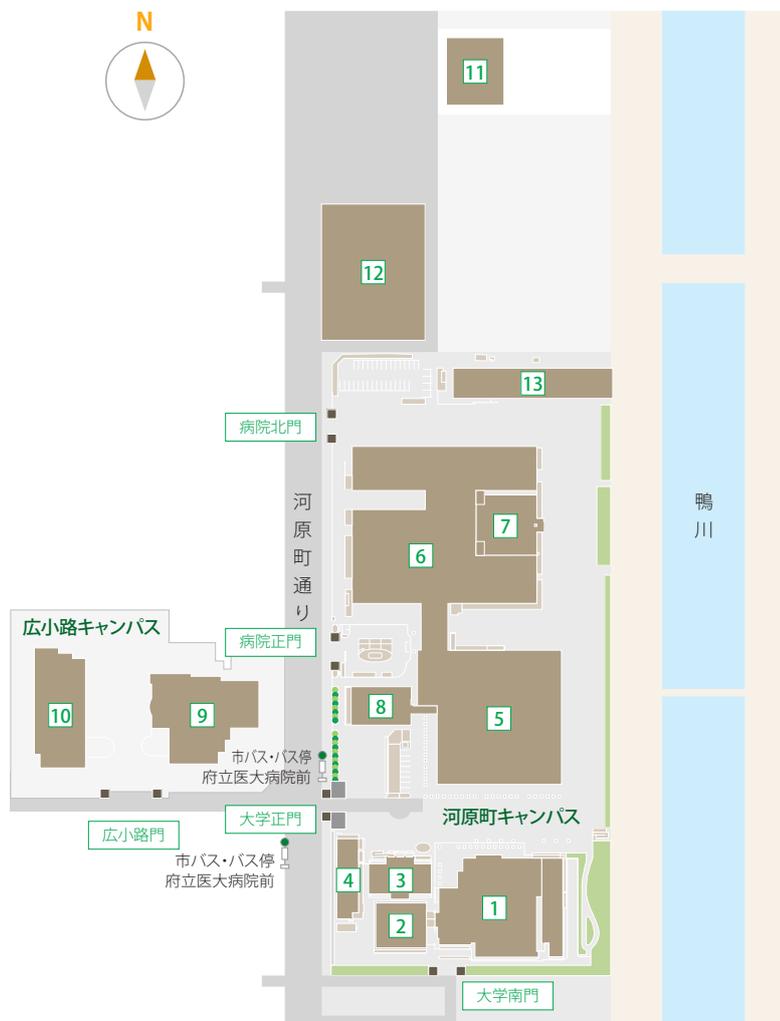
学科	最高点	最低点	平均点	配点		
				共通テスト	2次学力試験	合計
医学科	849.5	682.5	734.2	450	600	1050
看護学科	919.0	731.0	794.9	900	200	1100



詳細はこちらから (https://www.kpu-m.ac.jp/doc/examination/exam_gakubu/result.html)

キャンパスマップ（河原町・広小路）・交通アクセス

キャンパスマップ（河原町・広小路）



京都府立医科大学のキャンパスは、附属病院を併設する河原町キャンパスをはじめ、いずれも京都の中心部に位置しています。美しい鴨川沿いにある河原町キャンパスには教育・研究施設の他にも、カフェやレストラン、郵便局やコンビニなどがあり、キャンパスライフはとても快適です。

建物一覧

- ① 基礎医学学舎
- ② 基礎医学学舎実習棟
- ③ 大学本部棟
- ④ 管理棟
(1F 生協カフェテリアポレポレ、2F 生協医学部店)
- ⑤ 外来診療棟・臨床医学学舎
- ⑥ 病棟(A・B・C・D)・中央診療棟
- ⑦ 臨床講義棟
- ⑧ E病棟(1F 郵便局、コンビニ)
- ⑨ 附属図書館・合同講義棟
- ⑩ 看護学学舎
- ⑪ 体育館
- ⑫ 永守記念最先端がん治療研究センター
- ⑬ ロームBNCTセンター



① 基礎医学学舎



③ 大学本部棟



⑤ 外来診療棟・臨床医学学舎



⑩ 看護学学舎

交通アクセス



河原町キャンパス

京都市上京区河原町通広小路 上る梶井町465

広小路キャンパス

京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410 (上京区広小路通河原町西入る)

JR京都駅(正面)から	市バス4, 17, 205系統	「府立医大病院前」下車
阪急電鉄京都河原町駅から	市バス3, 4, 17, 205系統	
京阪電鉄三条駅から	市バス37, 59系統 京都バス23, 43系統	
京阪電鉄神宮丸太町駅から	徒歩約10分	
京阪電鉄出町柳駅から	徒歩約15分	

河原町・広小路キャンパス



下鴨キャンパス (稲盛記念会館)

京都市左京区下鴨半木町1-5

JR京都駅・阪急烏丸駅から	地下鉄烏丸線	「北山」下車	徒歩7分	下鴨キャンパス
京阪出町柳駅から	市バス1系統	「府立大学前」下車	徒歩5分	
JR二条駅から	市バス206系統		徒歩5分	



生協医学部店(河原町キャンパス)



カフェテリア「ボレボレ」(河原町キャンパス)



自習室(下鴨キャンパス)



京都府立医科大学
京都府立医科大学大学院



京都府立医科大学
KYOTO PREFECTURAL UNIVERSITY OF MEDICINE

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465

Tel. 075-251-5167 (教育支援課入試係)

<https://www.kpu-m.ac.jp>